

## Y13c 天文教材智恵袋プロジェクト〈めぞん一刻〉

小澤朋子、福江 純（大阪教育大教育）

大阪教育大学では、従来から、天文教育用の演習テーマ、手作りの教材やパソコン用のソフトなど、天文教育用素材の開発蓄積を続けてきている。また数年前からは、新世代へ向けて、マルチメディアソフトの開発も重点的に進めている。プロジェクト〈めぞん一刻〉は、そのような流れのもとで、1999年の4月に立ち上がった学内非公式プロジェクトの通り名で、「大阪教育大学教員養成・教養課程における、次世代向けのマルチメディア天文教育用インタラクティブソフトウェア」*Multimedia Astronomical Interactive Software for Next Generations, In Kyoiku and Kyoyo at Osaka Kyoiku University* を意味している。

このプロジェクトの目的は、長年にわたって蓄積してきたノウハウやソフト資産などを有効的に活用するために、マルチメディア環境のもとで利用できるように組織的に整理統合し、デジタルコンテンツ化しようとするものである。プロジェクト全体は、大きく、

- ・めぞん演習：天文学関連演習課題のマルチメディア化
- ・めぞん教具：天文学関連実験・教具作成のマルチメディア化
- ・めぞんビデオ：身近な星空などのビデオ・動画のデジタル化
- ・めぞんソフト：天文学関連パソコン簡易プログラムのマルチメディア化

などの部門に分かれているが、今回は、〈めぞん教具〉について報告したい。

〈めぞん教具〉では、ティーバッグの昇天、簡単クロマトグラフィー、傘袋の夕焼け、ナノ太陽系、宇宙の大規模構造、など多数のアイテムに関して、作成方法や実演などをデジタルコンテンツ化した。